

従業員教育におけるeラーニング（実習の進捗発表（シニア（大学4年生以上）、新規発表））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 隅田, 摂理, 見矢木, 啓太, 小池, 尚史 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028337

従業員教育における e ラーニング

隅田摂理（静岡大学情報学部行動情報学科），
見矢木啓太（静岡大学情報学部情報科学科），
小池尚史（静岡大学情報学部情報社会学科）

近年、手軽に短時間で学習できるメリットから e-ラーニングが注目されており、様々な分野で導入されている。私達は、e-ラーニングが活用される現場のうち職業訓練に注目し、文献調査に基づいて 10 年後の動向を推測した。導入事例の一つでは、温泉施設にて、従業員と外国人観光客との簡単な英語コミュニケーションの取得を目的とした e-ラーニング教材が作成され、現場に即した表現が、1 本当たり約 10 分程度の動画によって分かりやすく学習でき、かつ反復できることから従業員からも好評であった（2020，松崎）。このような学習の形態は、従業員を一斉に教育する必要がないなど従来の職業訓練には無いメリットを持ち、10 年後においては e-ラーニングに慣れた世代が現役となり、かつ端末の廉価化、高性能化によってより一般的な学習方法になっていると推測できる。

<関連実習科目>

PBL 演習